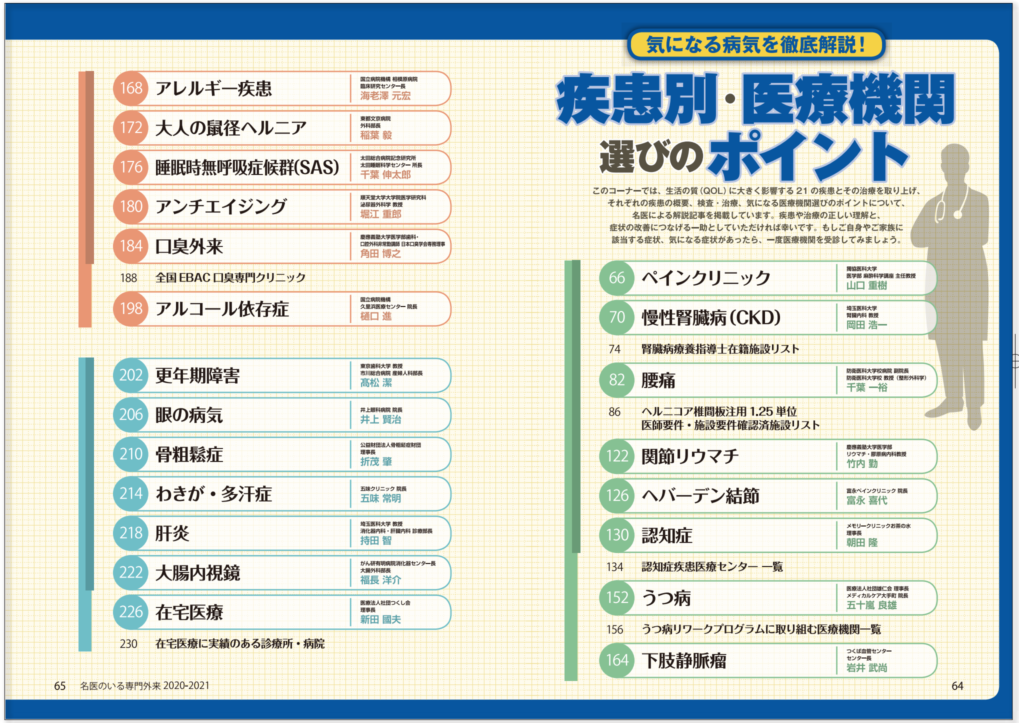


気になる病気を徹底解説！

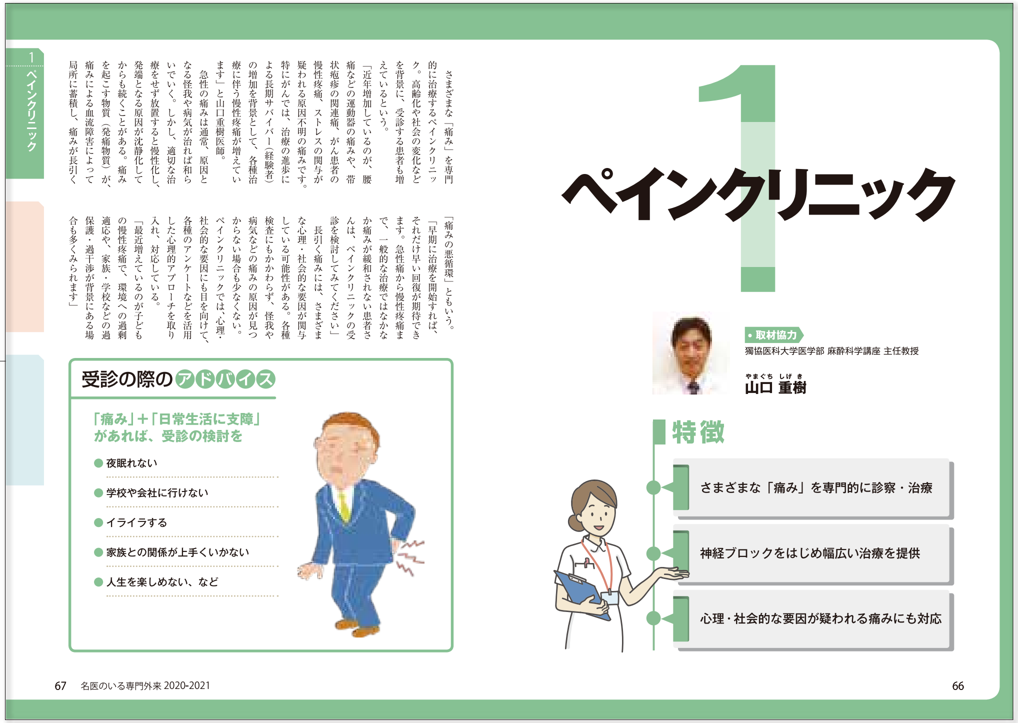
疾患別・医療機関選びのポイント

このコーナーでは、生活の質（QOL）に大きく影響する21の疾患とその治療を取り上げ、
それぞれの疾患の概要、検査・治療、気になる医療機関選びのポイントについて、
名医による解説記事を掲載しています。疾患や治療の正しい理解と、
症状の改善につなげる一助としていただければ幸いです。もしご自身やご家族に
該当する症状、気になる症状があったら、一度医療機関を受診してみましょう。

66 ペインクリニック　獨協医科大学 医学部 麻酔科学講座 主任教授 山口 重樹
70 慢性腎臓病（CKD）　埼玉医科大学 腎臓内科 教授 岡田 浩一
74 腎臓病療養指導士在籍施設リスト
82 腰痛　防衛医科大学校病院 副院長 防衛医科大学校 教授（整形外科学） 千葉 一裕
86 ヘルニコア椎間板注用1.25単位 医師要件・施設要件確認済施設リスト
122 関節リウマチ　慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科教授 竹内 勤
126 ヘバーデン結節　富永ペインクリニック 院長 富永 喜代
130 認知症　メモリークリニックお茶の水 理事長 朝田 隆
134 認知症疾患医療センター 一覧
152 うつ病　医療法人社団雄仁会 理事長 メディカルケア大手町 院長 五十嵐 良雄
156 うつ病リワークプログラムに取り組む医療機関一覧
164 下肢静脈瘤　つくば血管センター センター長 岩井 武尚
168 アレルギー疾患　国立病院機構 相模原病院 臨床研究センター長 海老澤 元宏
172 大人の鼠径ヘルニア　東都文京病院 外科部長 稲葉 毅
176 睡眠時無呼吸症候群(SAS)　太田総合病院記念研究所 太田睡眠科学センター 所長 千葉 伸太郎
180 アンチエイジング　順天堂大学大学院医学研究科 泌尿器外科学 教授 堀江 重郎
184 口臭外来　慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科非常勤講師 日本口臭学会専務理事 角田 博之
188 全国EBAC口臭専門クリニック
198 アルコール依存症　国立病院機構 久里浜医療センター 院長 樋口 進
202 更年期障害　東京歯科大学 教授 市川総合病院 産婦人科部長 髙松 潔
206 眼の病気　井上眼科病院 院長 井上 賢治
210 骨粗鬆症　公益財団法人骨粗鬆症財団 理事長 折茂 肇
214 わきが・多汗症　五味クリニック 院長 五味 常明
218 肝炎　埼玉医科大学 教授 消化器内科・肝臓内科 診療部長 持田 智
222 大腸内視鏡　がん研有明病院消化器センター長 大腸外科部長 福長 洋介
226 在宅医療　医療法人社団つくし会 理事長 新田 國夫
230 在宅医療に実績のある診療所・病院

64

65 名医のいる専門外来 2020-2021



1 ペインクリニック

• 取材協力
獨協医科大学医学部 麻酔科学講座 主任教授
山口 重樹（やまぐち しげき）

特徴

- さまざまな「痛み」を専門的に診察・治療
- 神経ブロックをはじめ幅広い治療を提供
- 心理・社会的な要因が疑われる痛みにも対応

66

さまざまな「痛み」を専門的に治療するペインクリニック。高齢化や社会の変化などを背景に、受診する患者も増えているという。

「近年増加しているのが、腰痛などの運動器の痛みや、帯状疱疹の関連痛、がん患者の慢性疼痛、ストレスの関与が疑われる原因不明の痛みです。特にがんでは、治療の進歩による長期サバイバー（経験者）の増加を背景として、各種治療に伴う慢性疼痛が増えています」と山口重樹医師。

急性の痛みは通常、原因となる怪我や病気が治れば和らいでいく。しかし、適切な治療をせず放置すると慢性化し、発端となる原因が沈静化してからも続くことがある。痛みを起こす物質（発痛物質）が、痛みによる血流障害によって局所に蓄積し、痛みが長引く「痛みの悪循環」ともいう。

「早期に治療を開始すれば、それだけ早い回復が期待できます。急性痛から慢性疼痛まで、一般的な治療ではなかなか痛みが緩和されない患者さんは、ペインクリニックの受診を検討してみてください」

長引く痛みには、さまざまな心理・社会的な要因が関与している可能性がある。各種検査にもかかわらず、怪我や病気などの痛みの原因が見つからない場合も少なくない。ペインクリニックでは、心理・社会的な要因にも目を向けて、各種のアンケートなどを活用した心理的アプローチを取り入れ、対応している。

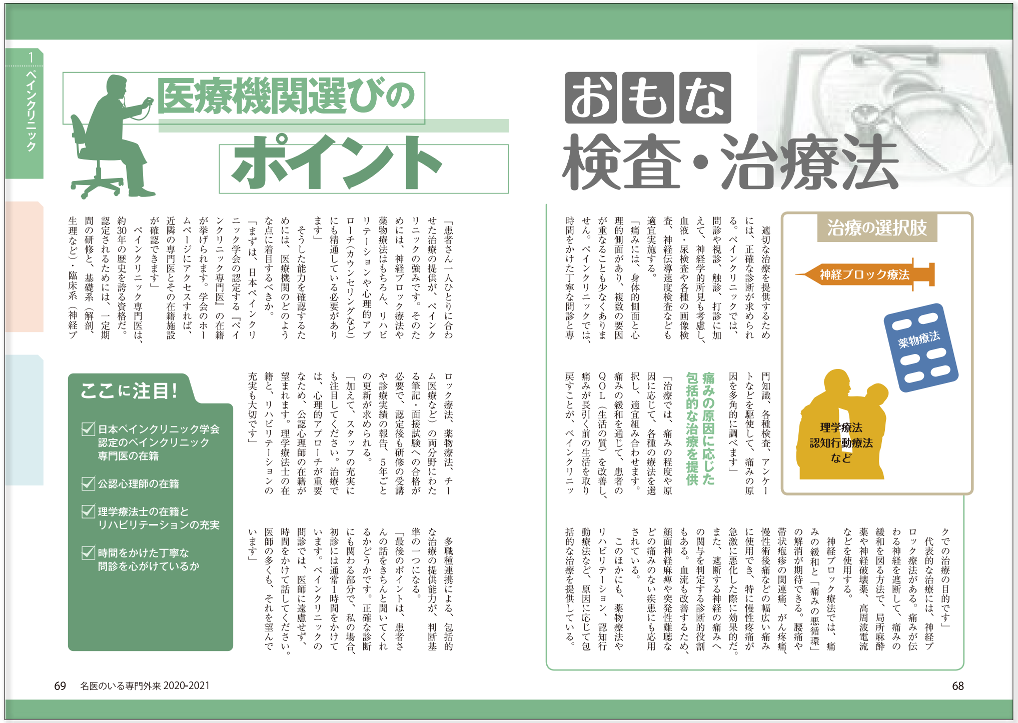
「最近増えているのが子どもの慢性疼痛で、環境への過剰適応や、家族・学校などの過保護・過干渉が背景にある場合も多くみられます」

受診の際のアドバイス

「痛み」＋「日常生活に支障」があれば、受診の検討を

- 夜眠れない
- 学校や会社に行けない
- イライラする
- 家族との関係が上手くいかない
- 人生を楽しめない、など

67 名医のいる専門外来 2020-2021



おもな検査・治療法

適切な治療を提供するためには、正確な診断が求められる。ペインクリニックでは、問診や視診、触診、打診に加えて、神経学的所見も考慮し、血液・尿検査や各種の画像検査、神経伝導速度検査なども適宜実施する。

「痛みには、身体的側面と心理的側面があり、複数の要因が重なることも少なくありません。ペインクリニックでは、時間をかけた丁寧な問診と専門知識、各種検査、アンケートなどを駆使して、痛みの原因を多角的に調べます」

痛みの原因に応じた包括的な治療を提供

「治療では、痛みの程度や原因に応じて、各種の療法を選択し、適宜組み合わせます。痛みの緩和を通じて、患者のQOL（生活の質）を改善し、痛みが長引く前の生活を取り戻すことが、ペインクリニックでの治療の目的です」

代表的な治療には、神経ブロック療法がある。痛みが伝わる神経を遮断して、痛みの緩和を図る方法で、局所麻酔薬や神経破壊薬、高周波電流などを使用する。

神経ブロック療法では、痛みの緩和と「痛みの悪循環」の解消が期待できる。腰痛や帯状疱疹の関連痛、がん疼痛、慢性術後痛などの幅広い痛みに使用でき、特に慢性疼痛が急激に悪化した際に効果的だ。また、遮断する神経の痛みへの関与を判定する診断的役割もある。血流も改善するため、顔面神経麻痺や突発性難聴などの痛みのない疾患にも応用されている。

このほかにも、薬物療法やリハビリテーション、認知行動療法など、原因に応じて包括的な治療を提供している。

治療の選択肢

神経ブロック療法
薬物療法
理学療法
認知行動療法
など

68

医療機関選びのポイント

「患者さん一人ひとりに合わせた治療の提供が、ペインクリニックの強みです。そのためには、神経ブロック療法や薬物療法はもちろん、リハビリテーションや心理的アプローチ（カウンセリングなど）にも精通している必要があります」

そうした能力を確認するためには、医療機関のどのような点に着目するべきか。

「まずは、日本ペインクリニック学会の認定する『ペインクリニック専門医』の在籍が挙げられます。学会のホームページにアクセスすれば、近隣の専門医とその在籍施設が確認できます」

ペインクリニック専門医は、約30年の歴史を誇る資格だ。認定されるためには、一定期間の研修と、基礎系（解剖、生理など）・臨床系（神経ブロック療法、薬物療法、チーム医療など）の両分野にわたる筆記・面接試験への合格が必要で、認定後も研修の受講や診療実績の報告、5年ごとの更新が求められる。

「加えて、スタッフの充実にも注目してください。治療では、心理的アプローチが重要なため、公認心理師の在籍が望まれます。理学療法士の在籍と、リハビリテーションの充実も大切です」

多職種連携による、包括的な治療の提供能力が、判断基準の一つになる。

「最後のポイントは、患者さんの話をきちんと聞いてくれるかどうかです。正確な診断にも関わる部分で、私の場合、初診には通常1時間をかけています。ペインクリニックの問診では、医師に遠慮せず、時間をかけて話してください。医師の多くも、それを望んでいます」

ここに注目！

☑ 日本ペインクリニック学会認定のペインクリニック専門医の在籍
☑ 公認心理師の在籍
☑ 理学療法士の在籍とリハビリテーションの充実
☑ 時間をかけた丁寧な問診を心がけているか

69 名医のいる専門外来 2020-2021

疾患の概要や検査・治療の説明を
はじめ、受診の際のアドバイスや
医療機関選びのポイントといった
充実した内容を掲載！